

秋津鴻池病院
ニュース 10

2023 October



回復期リハビリテーション病棟の紹介

入院前からの相談支援

入院中のリハビリテーション

退院時 退院後の支援

患者さんの声

回復期リハ病棟 Q&A

【お問い合わせ】

秋津鴻池病院 医療相談課（9時～16時30分）

➤ 医療機関 入院相談専用

FAX：0745-64-2078

➤ 当日緊急対応が必要な場合

内線番号1149（9:00～17:15）

〒639-2273

奈良県御所市池之内1064

TEL：0745-63-0601 FAX：0745-62-1092



外来診療のご案内

外来受付時間	午前9時～午前12時まで
外来診療時間	午前9時30分～午前12時まで
休診日	日曜日・祝日・ 年末年始（12/29～1/3）

内科外来担当医師

赤字は女性医師

リハ外来は予約制

	月	火	水	木	金	土
1診	右原	林	右原	水本	眞島	リハ 外来
2診	神田	大塚	中川	坂本正	古川	林

赤字は女性医師

精神科外来担当医師

	月	火	水	木	金	土
1診	田原	岸本	平井	井上雄	もの忘れ 外来	当番医
2診	洪	田原	松本	嶋吉	原田	嶋吉
3診	杉山	中井	井上慶	洪	西川	当番医
5診		坂本健			上田	こどもの 心

もの忘れ外来、こどもの心（児童思春期）外来は予約制
（0745-64-2069）

～無料シャトルバスのお知らせ～

八木方面	○近鉄	大和八木駅（南側ローソン前）
橿原方面	○近鉄	橿原神宮前駅 西出口
	○JR	玉手駅（踏切南側）
高田方面	○近鉄	御所駅（バスロータリー内）
	○JR	高田駅（西出口側ロータリー内）
	○近鉄	大和高田駅（正面ロータリー前）



無料シャトルバス



時刻表



乗車位置

回復期リハ病棟 Q&A

・誰でも入院できますか？

⇒回復期対象疾患の方のみ入院して頂けます（※1）。

・入院期間はどのくらいかかりますか？

⇒疾患によって入院期間の上限が定められています（※2）。

・どのくらいリハビリを受けることができますか？

⇒脳血管疾患の方であれば1日3時間程度の個別に行うリハビリに加え、病棟スタッフによる歩行等の訓練、希望に応じて就寝前の活動提供も行っています。

※1 ※2 詳細は病院相談課まで問い合わせ下さい。

・入院生活の実際は？

⇒脳卒中の診断で入院された60歳代後半の男性例

入院当初、右半身が思うように手足が動かず、遂方に暮れておられましたが、専門的なリハビリはもちろんのこと、リハビリの時間以外にも看護師さんとの歩行練習や夜就寝前の運動も経験され、徐々に杖で歩けるようになりました。入院中から退院後の生活を相談し、退院後の生活を見据えた準備ができたことで、退院後は自宅周辺を散歩したり、買い物にも出掛けられるようになりました。

⇒S状結腸癌手術後の廃用症候群で入院された80歳代後半の女性例

手術のあと、体力が落ちて身の回りのことをするのに精一杯の状態になられ、回復期リハ病棟入院生活を送られました。入院中は体力を取り戻すためのリハビリに励まれ、自分でできるセルフエクササイズの指導を受けたことで、退院してからでも体力の維持ができておられます。体力も戻り、前かがみになっていた姿勢も良くなりました。

～みなさまの声をお聞かせください～

・こんなことが知りたい

・医療介護に関すること

ご意見をお待ちしております



回復期リハビリテーション病棟

脳血管障害や骨折などの手術を受けて、病状が安定し始めた患者さんが機能の回復や日常生活に必要な動作の改善を図り、寝たきりの防止と家庭や社会への復帰を目的として、リハビリテーションや看護ケアを行っています。医師をはじめ、看護師やリハビリストップ等の多職種がチームとなって患者さんに**集中的なリハビリテーション**を提供しています。

当病棟は、急性期治療後の患者さんが入棟され、ご本人の望む生活や社会復帰に必要な生活リハビリを中心に多職種で支援を行う病棟です。

看護部 課長 更井まどか

01 入院 入院前からの相談支援

相談員がすべての患者さんを個別担当し入院前から退院後の生活支援までサポートします！

入院時から**医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士**他、多職種で評価し、連携を図りながら計画を立てます。

また、**自宅訪問（ご自宅の環境調査）**を行い、早期からご自宅の環境に応じた動作練習や環境調整・福祉用具の検討を進めます。



多職種連携
カンファレンスでの情報共有

02 リハビリテーション 入院生活

患者さんの**状態に応じて、リハビリテーションプログラムを立案**し、さらに病棟生活の中でも食事や排せつなどの日常生活場面での**生活リハ**を実践しています。

摂食嚥下機能の低下が疑われる方には、**VF検査**を実施し、適切な食事形態を提案します。

自宅退院される方には、夕食後の「**夜リハ**」**「お楽しみ倶楽部」**といったリハビリや入院前の習慣的作業を提供する時間を設け、退院後の生活スケジュールに適應できるように準備します。



リハビリテーション

03 退院時 退院後の支援

入院時から共有した退院後の生活課題については、本人家族の意向をくみ最良の方法を提案します。

手すりや福祉用具など、環境調整が必要な方には、療法士が適切な処方を提供します。

本人家族への**動作指導**や**介護指導**、介護保険サービスが必要な方には、**事業所への申し送り**を行います。



退院後生活の課題共有と
介護保険利用サービス調整



退院後訪問にて退院後の生活状況の確認や
介護指導に応じます

回復期病棟 入院対象

急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折、廃用症候群の患者さんが対象となります。

- ・発症及び術後からの期間を問わず、リハビリを要する方
- ・治療改善は見込めないが、生活スタイルの再構築や指導（住環境、サービス利用）を要する方
- ・急性期で、長い期間治療を要した方
- ・脊髄損傷等の外傷でリハビリを要する方
- ・他院で入院していたが、さらなるリハビリを要する方

※入院期間：150日（脳血管疾患、脊損）、概ね90日（廃用、大腿骨・脊椎骨折等）